

令和6年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名

大磯町立国府中学校

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	・情報について理解する問題の解答結果が高かった。 ・各教科でＩＣＴ機器を用いた情報処理活動が定着していることが成果につながっている。	・短歌の表現技法に関する知識の定着と本文を要約する力に課題がある。 ・要点をとらえながら読む力や記述力を高める指導の工夫が必要である。
数学	・領域では「データの活用」、観点では「知識・技能」について必要な力が身についている。 ・無回答率は比較的低く、問題を解く意欲が高い傾向がある。	・観点によらず、記述式の問題は顕著に苦手である。 ・自分の考えをまとめて表現する活動に力を入れる必要がある。
質問紙	・ＩＣＴ機器の使用についてほとんどの生徒が肯定的に回答し、全国と比較して大きく上回っている。 ・学校全体でＩＣＴ活用に力を入れていることが主体的な学びにつながっている。	・「学校に行くのが楽しいか」「夢や希望があるか」の問いではやや否定的な回答が多く、自己肯定感の低さがうかがえる。 ・自己肯定感を高めるために、主体的に活躍できる場が必要である。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

- ・学校研究、教職員の資質能力向上、授業改善、生活指導に重点をおいて取り組んでいる。
- ・学力面において、日頃からＩＣＴ機器を積極的に活用し、各教科においてデータから自分の意見をまとめる授業を意識的に実施している。また、取り組むべき課題が明確な場合に粘り強く学習に向かえる傾向があるため、見通しを持たせた学習指導を工夫していく。
- ・生活面において、自分の良さに気づいている生徒の割合が比較的高い。他者との関わりに関する満足度や、社会と積極的に関わる姿勢について、やや消極的な傾向があるため、生徒の意志決定の幅が広い活動を意図的に設定し、他者と協働して物事に取り組む機会を増やし、授業だけでなく行事、生活を含むすべての教育活動の改善と工夫について職員全体で協議し、推進していく。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

- ・本校の強みであるＩＣＴ機器の活用を継続し、さらなる学力向上を目指します。他者との関わりから充足感や学びを得ることができるよう、教育活動の改善と工夫に取り組み、学校の様子を保護者や地域に発信しますので、教育活動の理解と支援をお願いします。